

3 就業の状況

(1) 就業状態の変化

この18年間で、「正規の職員・従業員」の割合は減少、「パート・アルバイト」、「自営業主、家族従業者」の割合は減少傾向

第1回調査から18年間の就業状況の変化をみると、「正規の職員・従業員」は、第1回38.7%から第19回2.4%と減少している。また、「パート・アルバイト」は、第1回17.0%から第19回13.2%、「自営業主、家族従業者」は第1回15.2%から第19回11.5%と減少傾向となっている。(図5)

また、第1回で「仕事をしている」者について、性別に第19回就業状況をみると、男の「(第1回)正規の職員・従業員」では39.1%が第19回も仕事をしており、「(第19回)パート・アルバイト」が14.9%、「(第19回)労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託」が7.9%と割合が高い。女の「(第1回)パート・アルバイト」では30.5%が第19回も仕事をしており、「(第19回)パート・アルバイト」が24.8%と割合が高くなっている。(表3)

図5 第1回調査からの就業状況の変化

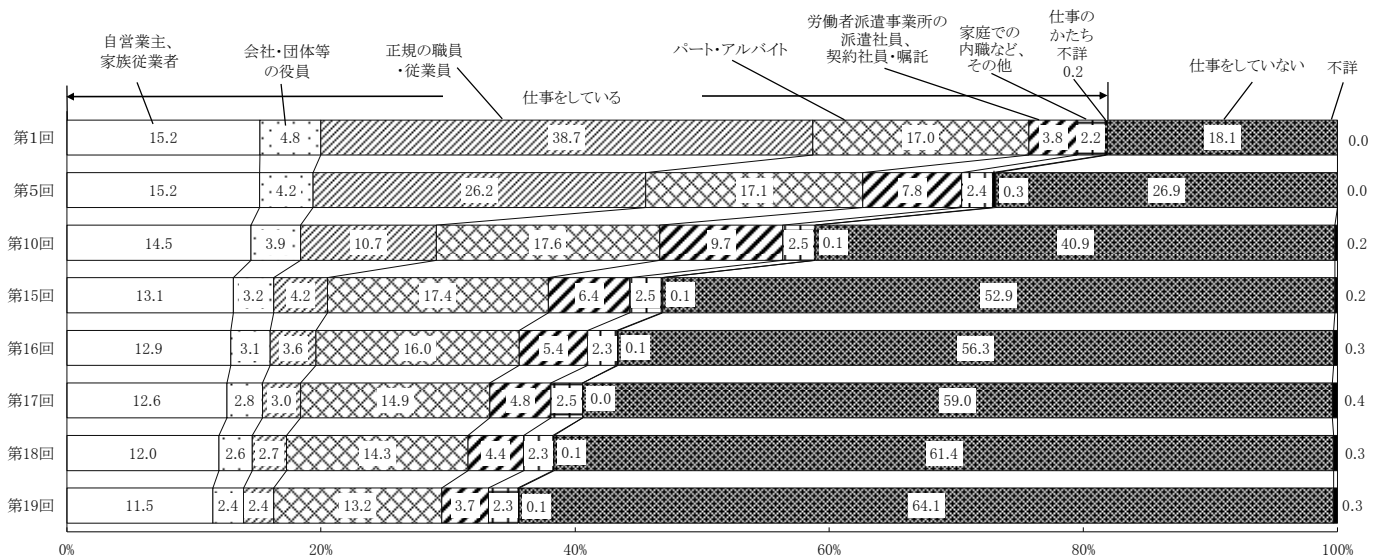


表3 性、第1回就業状況別にみた第19回就業状況

		第19回の仕事の有無・仕事のかたち (単位:%)									
		総数	仕事をしている	第19回の仕事の有無・仕事のかたち						仕事をしていない	
				自営業主、家族従業者	会社・団体等の役員	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託	家庭での内職など、その他		
性・第1回の仕事の有無・仕事のかたち	総数	(100.0)	100.0	35.6	11.5	2.4	2.4	13.2	3.7	2.3	64.1
	仕事をしている	(81.9)	100.0	41.6	13.6	2.9	2.9	15.2	4.4	2.6	58.1
	仕事をしていない	(18.1)	100.0	8.1	2.1	0.3	0.4	3.9	0.4	0.9	91.1
	男	(100.0)	100.0	44.7	15.8	4.0	3.8	12.0	6.4	2.6	55.1
	仕事をしている	(95.7)	100.0	46.1	16.4	4.2	3.9	12.2	6.6	2.7	53.8
	自営業主、家族従業者	(18.1)	100.0	69.3	54.6	3.9	1.6	5.2	1.8	2.1	30.5
	会社・団体等の役員	(8.3)	100.0	54.2	10.2	25.1	4.5	6.2	5.9	2.2	45.8
	正規の職員・従業員	(62.1)	100.0	39.1	7.1	1.9	4.5	14.9	7.9	2.8	60.7
	パート・アルバイト	(2.0)	100.0	33.6	7.1	-	0.7	17.9	2.9	5.0	66.4
	労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託	(3.7)	100.0	41.2	8.0	0.4	3.8	13.7	13.4	1.9	58.8
家庭での内職など、その他	(1.2)	100.0	35.7	10.7	2.4	1.2	8.3	3.6	9.5	63.1	
仕事をしていない	(4.2)	100.0	14.9	3.0	1.0	2.4	5.4	2.0	1.0	84.5	
女	(100.0)	100.0	28.0	8.0	1.1	1.3	14.1	1.4	2.0	71.5	
仕事をしている	(70.5)	100.0	36.7	10.5	1.4	1.8	18.5	1.9	2.5	62.9	
自営業主、家族従業者	(12.8)	100.0	58.6	45.9	2.1	0.8	6.4	0.6	2.5	41.0	
会社・団体等の役員	(1.9)	100.0	51.5	8.6	27.0	3.1	9.8	0.6	2.5	48.5	
正規の職員・従業員	(19.6)	100.0	31.8	3.0	0.6	4.0	17.9	3.1	3.2	68.0	
パート・アルバイト	(29.3)	100.0	30.5	2.0	0.2	0.6	24.8	1.3	1.5	69.1	
労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託	(3.9)	100.0	35.8	2.4	0.6	2.1	24.5	5.7	0.3	64.2	
家庭での内職など、その他	(2.9)	100.0	28.4	4.0	-	1.2	11.2	1.6	10.4	71.6	
仕事をしていない	(29.5)	100.0	7.3	2.0	0.2	0.2	3.7	0.2	0.9	91.8	

注: 「総数」「男」「女」には第1回及び第19回の仕事の有無の不詳を含み、「仕事をしている」には仕事のかたちの不詳を含む。

(2) 仕事をしている者の割合の変化

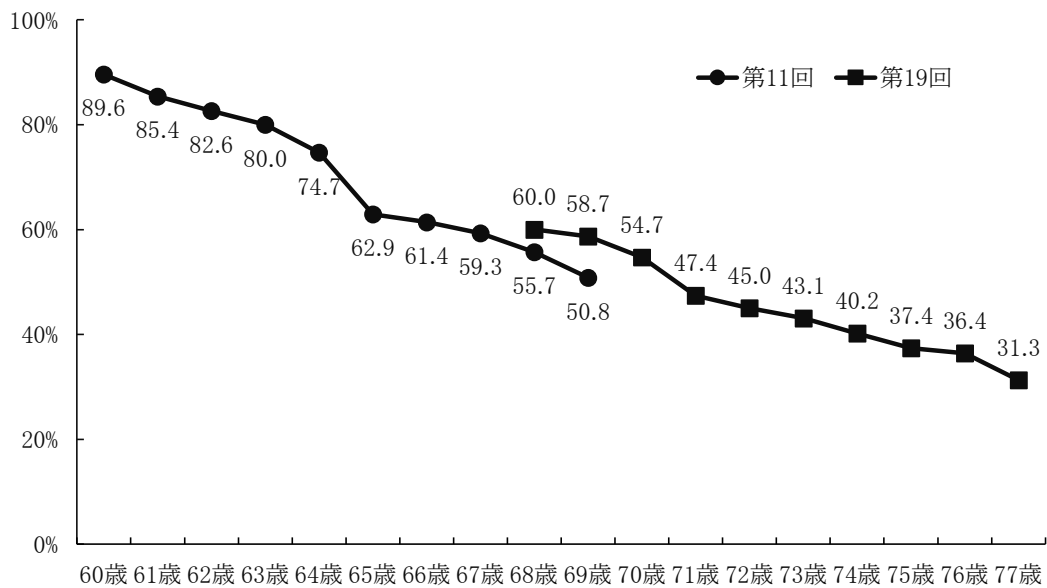
仕事をしている者の割合は、すべての調査対象者が 60 歳以上となった 8 年前と比べて高い

60 歳以上の仕事をしている者の割合について、年齢が 60～69 歳であった第 11 回と第 19 回(68～77 歳)とを比べると、どちらも年齢が高くなるにつれて減少している。

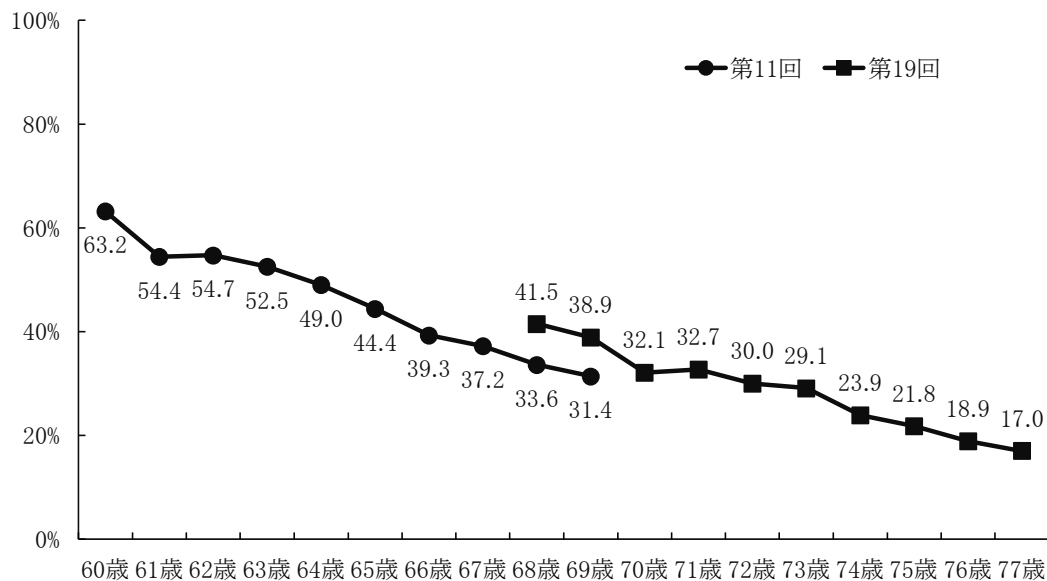
また、第 11 回と第 19 回で比較可能な 68～69 歳をみると、第 19 回の方が、男では 68 歳で 4.3 ポイント、69 歳で 7.9 ポイント、女では 68 歳で 7.9 ポイント、69 歳で 7.5 ポイントとそれぞれ高くなっている。(図 6)

図6 第 11 回(60～69 歳)と第 19 回(68～77 歳)の
性・年齢別にみた仕事をしている者の状況

【男】



【女】



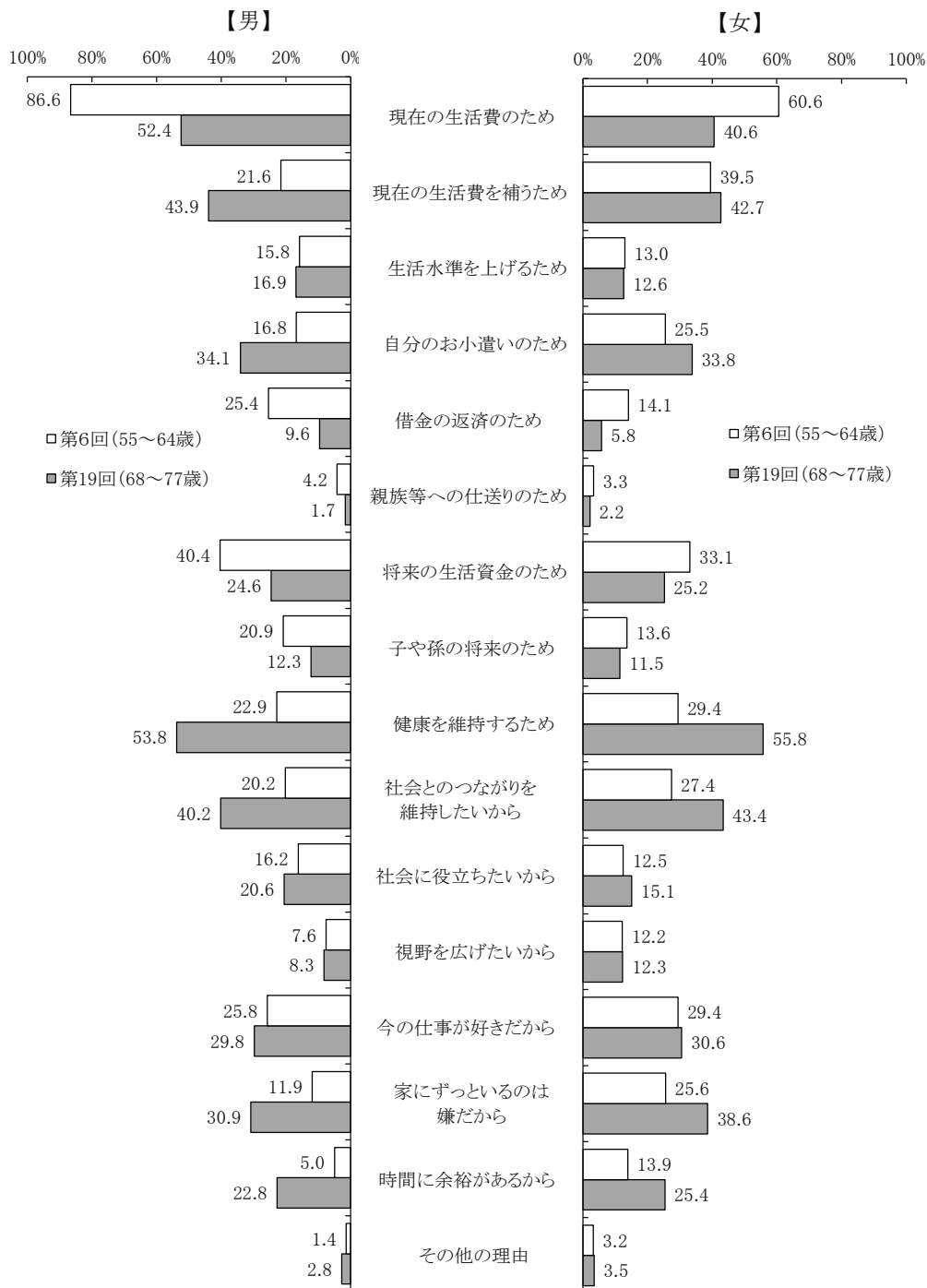
注: 第 11 回及び第 19 回の性別・年齢ごとの総数を 100 としたときの割合である。

(3) 仕事をしている理由

第 19 回調査(68～77 歳)で仕事をしている理由は、「健康を維持するため」が最も高い

仕事をしている者の仕事をしている理由を、比較可能な第6回と第 19 回とで比較すると、第6回では「現在の生活費のため」が男 86.6%、女 60.6%と最も高く、次いで、男は「将来の生活資金のため」40.4%、女は「現在の生活費を補うため」39.5%と高くなっている。一方、第 19 回では「健康を維持するため」が男 53.8%、女 55.8%と最も高く、次いで、男は「現在の生活費のため」52.4%、女は「社会とのつながりを維持したいから」43.4%となっている。(図7)

図7 第6回(55～64 歳)と第 19 回(68～77 歳)の仕事をしている理由(複数回答)



注: 1) 第6回及び第 19 回の性別ごとの仕事をする理由に回答のあった者を 100 としたときの割合である。

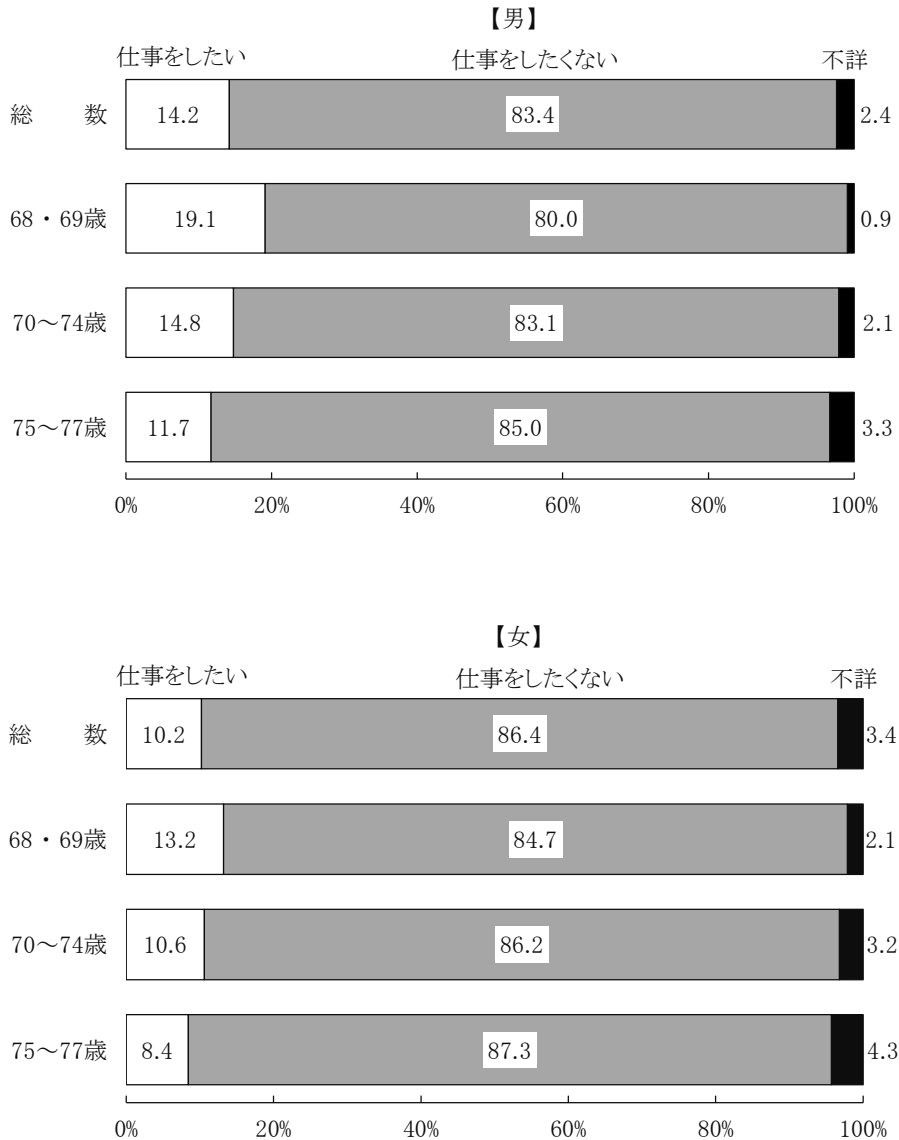
2) 「仕事をしている理由」は、第6回調査からの調査項目である。

(4) 就業希望の状況

第 19 回調査(68～77 歳)で、仕事をしていない者のうち「仕事をしたい」と思っている者の割合は男は 14.2%、女は 10.2%

第 19 回の仕事をしていない者の就業希望の状況を性、年齢階級別にみると、男は 14.2%、女は 10.2% となっており、68・69 歳で男は 19.1%、女は 13.2%と最も高くなっている(図8)。

図8 性・年齢階級別にみた第 19 回で仕事をしていない者の就業希望の状況



注: 第 19 回の性別・年齢階級ごとの仕事をしていない者を 100 としたときの割合である。